

地質ニュース

昭和 60 年 3 月

第 367 号

1985

特集 海洋底をさぐる 59年

海洋地質部の研究の概要.....	水野篤行	6
海底熱水活動に伴う重金属資源の 評価手法に関する研究 —昭和59年度研究航海(GH84-2及びGH84-4)—	中尾征三・湯浅真人 野原昌人・石原丈実 宮崎光旗・村上文敏 西村昭・岡村行信 白井朗・山崎俊嗣 渡辺和明・木下泰正	13
日本周辺海域の海洋地質調査活動 —昭和59年度の白嶺丸による調査航海—	盛谷智之・中尾征三 石橋嘉一・中村光一 岡村行信・池原研 川崎穂高・西村清和 山崎俊嗣・氏家治 宮崎純一・木下泰正	22
インド洋・太平洋プレート境界海域における 島弧・海溝系の地質構造に関する研究(IPPBAS 計画) —昭和56~58年度の研究—	本座栄一 IPPBASグループ	46
深海曳航式地震探査の現状とその開発.....	西村清和 石原丈実 玉木賢策	56
クルーズ・レポートの新刊.....	水野篤行 水官野旗	44
「釜石沖表層堆積図」20万分の1海洋地質図.....	有田正史 木下泰正	63
八幡 HACHIMAN	脇田浩二	64

目 絵

「しんかい2000」による
駿河トラフの海底地形・地質調査

山崎晴雄
加藤雄茂

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

伊豆・小笠原弧北部のマンガン酸化物(文:白井朗・湯浅真人 撮影:正井義郎)
白嶺丸 GH84-2 航海において 鳥島北西方約 170km の西七島海嶺の海山(水深約 700m)から 海底熱水活動起原と思われるマンガン酸化物の巨塊約100kg を採取した。
写真はさしわたし30cmのマンガングラストの切断面で 最表層は1cm厚の海水成(マンガン団塊と同じ成因)酸化物層に覆われている。その下部に 淡黄緑色の粘土岩の割れ目に沿って沈殿した 灰色・亜金属光沢の脈状マンガン酸化物が認められる。この酸化物を構成するマンガン鉱物はマンガン団塊構成鉱物とは性質を異にし 非常に純粋な化学組成と 桁違いに大きい結晶が特徴的であり 大洋中央海嶺付近や陸上熱水性マンガン鉱床にみられるマンガン鉱物と酷似する。この熱水活動の時期 条件 現在の活動の可能性などについては本誌記事を参照。

4月号予定目次

日本の骨材資源
—とくに碎石資源について—
ペルー南部の鉱床について(1)
有孔虫の脈管系の機能について
—Heterostegina depressa D'ORBIGNY
による研究から—
天満砂礫層と伊丹礫層
地質調査所の国際活動(昭和58年度)